

こうもり穴と仙人窟

こうもり穴は、淀の松原を通る遊歩道のメインルートから外れたところにあります。高さ約 3 メートル、幅約 8 メートルのこの洞窟は、長年の海蝕によってつくられました。こうもり穴という名前ですが、今ではここにこうもりは棲んでいません。

遊歩道から分かれて延びる急勾配の道を行くと、海岸を見下ろす別の洞窟があり、その中には鳥居が立っています。この仙人窟は、ここから見える景色が気に入ったためここをすみかとした修行者にちなんで名づけられました。四季折々の植物に囲まれ、付近に清水が湧くこの場所はおそらく、神道と仏教両方の教えを取り入れた修験道の行者たちに好まれたのでしょう。